

事業番号	14 05 03	事業改善シート (26年度実施事業分)			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	グローバル人材育成事業費				担当課	部局	教育委員会事務局	
総合5か年計画	プロジェクト	8-4-2 教育再生プロジェクト				課・室	教学指導課	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成				E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
					実施期間	H26 ~		

1 事業の概要

目指す姿	グローバル時代に対応した、信州に根ざし世界に通じる人材を育成するため、児童生徒に、世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力の向上を図る。				
現状	英語コミュニケーション能力: 中学3年卒業時で3級レベル 31.2% 高校3年卒業時で準2級レベル 35.8% (H24) 変化の激しい社会を生き抜く力の養成とグローバル社会で各分野を牽引できるような人材の育成が求められている。				
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】			
	県民との協働による実施: 検討中	児童生徒が世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力の育成は、小・中・高を通じて取り組むべき施策であり、県が当該事業を実施することは必要不可欠である。			
事業内容	① 成果目標 (H26)				
	英語コミュニケーション能力: 中学3年卒業時で3級レベル 29.0% 高校3年卒業時で準2級レベル 35.0% (H26) Can-Doリストで学習到達目標を公開する学校数: 15校				
	② 事業内容 (単位: 千円)				
	項目	実施方法	H26事業実績		
			H26 (当初)	H26 (決算)	H27 (当初)
スーパーグローバルハイスクール(SGH)設置事業	直接	SGH指定校の取組、SGH運営指導委員会	32,062	13,178	32,009
発信力育成プログラム	直接	発信力育成講座、高校生海外研修 高校生の留学促進事業	8,221	5,235	12,390
外国語教育充実支援事業	直接	英語力を強化する指導改善事業、CET(英語中核教員)養成プログラム、外国語指導助手(ALT)配置事業	190,219	188,907	195,596
		合計	230,502	207,320	239,995

事業コスト	区分(単位: 千円)	24年度	25年度	26年度	27年度
	前年度繰越				
	当初予算	190,319	193,359	230,502	239,995
	補正予算	3,929	-1,220	-16,652	
	合計(A)	194,248	192,139	213,850	239,995
	国庫支出金	3,929	5,647	25,409	
	県債				
	その他(諸収入)	781	621	620	631
	一般財源	189,538	185,871	187,821	239,364
	決算額(B)	189,763	188,263	207,320	
概算職員数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00	
概算人件費	8,258	8,258	8,258	8,258	
概算事業費(B(A)+C)	198,021	196,521	215,578	248,253	

成果目標の達成状況					
項目	H25末(実績)	H26			H27目標
		目標	成果	達成状況	
中学3年卒業時に英検3級レベルを有する割合	28.2%	29.0%	33.2%	達成	33.0%
高校卒業時に英検準2級レベルを有する割合	34.4%	35.0%	35.0%	達成	36.0%
Can-Doリストで学習到達目標を公開する学校数	5校	15校	37校	達成	30校

目標に対する成果の状況	中学、高校卒業時の英語力及びCan-Doリストによる学習到達目標の設定について、それぞれ目標を達成することができた。 なお、H26目標値は、しあわせ信州創造プランにおける達成目標の目安値と整合を図るため、H26点検時に修正
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	・グローバル時代に対応し、信州に根ざした世界に通じる人材を育成するため、児童生徒が世界で活躍するために求められる発信力やコミュニケーション能力を向上させる取組を引き続き行っていく。特に、将来、政治、経済、学術等の分野で活躍できるグローバルリーダーを育成するための教育課程研究を行うスーパーグローバルハイスクールの支援、世界に視野を広げる高校生を育成するための留学メニューの充実、さらには、小学校における英語教育の教科化、早期化を見据えたモデル研究開発や小学校中核教員及び中・高校における英語科教員の研修を実施し、スキルの上向を図っていく。